



おかむら通信 225号 令和6年1月号

ご挨拶 みなさん、こんにちは、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。疲れすぎないように ほどほどにがんばってゆきましょう。

<今月の言葉>

自分自身のあたまで考えない方がまた増えてきているように思います。

変な例えですが、当院の胸部 XP は、正面と側面 2方向から見ます。当院の CT は横断面 縦断面 側面 3方向から見えています。柔軟な頭で病変の追及をしています。

<お知らせ>

昨年1年の反省を込めて、以下、繰り返すようですが、述べます。

①総合診療学とは、世界では 専門の科となっています、少なくともイギリスでは。院長のおおもとの専門は 外科一般、麻酔学(救急医療、ショック治療、心循環のダイナミクス、脳循環、呼吸生理、臨床薬理、)です。これは、都内の都立病院、墨東病院で特に鍛えられたものばかりです。さらに硬膜外神経ブロックなどのブロック治療も。

②人間の病態は、立体的、動的で、朝になんでもなかった症状が夕に急変することは、しょっちゅう有なのです。内科的疾患も医師が頭の中で考える以前に目まぐるしく動いているのです。各臓器、それをつなぐ全身に張り巡らされた血管、神経、リンパ管をとうして。細胞レベル、遺伝子レベルでも戦っているのです。

③まだ、血圧についての基本的な認識がなされていません。テレビのコマーシャルなどによる血圧の間違った常識がつけられて、一般の方々はそう思い込まされています。したがって外来においては、患者さんの意識改革に時間をとられているのが現状です。

④自宅での血圧測定と記録がまたまたされなくなってきました。3日に1回でもいいですので、情報を下さい。いつも言うように、人間の血圧は1 変動します 2 場所や環境によって変動します。3 季節、気候の変化によって変動します。

⑤一方、血圧の薬をいったん飲み始めたなら永久に飲むなんてことはありません。

⑥これもいつも言っているように、病気は知らないうちに始まっています。そう初めは無症状です。また、治療が始まると症状が軽快、そして無症状になることがあります。

⑦病気が治るのは、薬だけによるものではありません。みなさんの体そのものが、病気を治してくれているのです。細菌やウィルスを撃退したり、こわれたところを修復したり。

⑧休養し、栄養をとったり、精神を穏やかにすることがいかに大切か。

⑨ときどき、診察で院長が「人生を語ったり」していますね。患者さんの本当の内面、生活、仕事での戦い、言えない苦しみ、生きる意味など、ありのままを伝えてほしい時があります。

⑩ときに、病院の救急外来で行うような治療をすることがあります。当院で出来る総合的な医療、技術を使って、心肺・血圧・脈拍酸素飽和度の自動的測定装置や日常使わないような薬剤などをつかって、緊急治療を処置室で行います。





心不全、呼吸不全、循環ショック、薬剤性ショックなどに対してです。目まぐるしく医師のとスタッフが動き回るので驚かないでください。勿論、救命出来たら、即病院へ転院です。

⑪コロナの重症例が2例ありました。インフルエンザA、Bも急速に流行っています。感染性胃腸炎、溶連菌感染症も巷の医療機関で増え始めました。基本的に免疫力がかなり低下していたケースに多いのです。重症例はゾコーバなど特殊な薬剤を使います。

⑫意外に若い方で、全身の動脈硬化が進んでいる方が少なくありません、「頸動脈エコー」でよくわかりますよ。見かけではわかりません。

⑬よく専門、専門とマスコミが言いますが、いったい専門性とは何でしょう。本当の専門医たるものは、知識だけでなく、実践、行動、先読み、疾病を素早く把握し、誰よりも病気を早く直せる人、ではないでしょうか？そこには狭い知識、浅い経験だけでは人をたすけることはできません。

⑭話は変わりますが、世界中の国で、国民に対してつかう教育及び研究費は日本はどのくらいか知ってますか？GDPに比較して。38位/39国中とのことです。これからこの国はどうなりますか？どなたがこうさせたのですか。

⑮国立を含め大学の優秀な先生たちは、研究費をけずられ、しいては研究員の生活も困り、これでは、日本国内からノーベル賞を取ることは、当分、難しいのではないのでしょうか。

⑯高脂血症や高血圧症をそのままにして、いつもまにか、全身の動脈硬化がすすんでしまっているようなこともないようにしましょう。色々な情報があふれていますが、ご自分の考えをもっとしっかり持ち、自分で、判断し、ご自分を守りましょう。高血圧は静かなる殺人者、というのは世界では常識ですよ。

<12月の院長の部外活動>

01/ (金) 久留米消化器科セミナー「脂肪肝の臨床研究」名古屋大学消化器内科I助教授「臍のう胞性病変の up to date」 仙台市医療センター E内科部長

06/ (水) 国際ロータリ-クラブで世界のポリオ絶滅のため「白衣を現地に支援」

11/ (月) 「パーキンソン病の進行に対する運動療法」順天堂越谷病院脳神経内科 Y教授

11/ (月) 当院の MSHCT・エコーなど画像装置の点検

12/ (火) 「みんなで考えるCKD(慢性腎疾患)診療」千葉東病院統括診療部長I先生

13/ (水) 「どこまで進んだ心臓カテーテル治療」新東京病院 N心臓内科部長

18/ (月) 千葉西総合病院の地域連携室 来院

追伸

今年の春頃から「自動精算機」を導入する予定です。会計業務がよりスムーズに行くように、少しでも待ち時間が短くなるようにという思いもあります。



今年、暖かいお正月でしたね。
皆様にとって素敵な1年になりますように。
島津

